

教科名	世界史A	科目名	世界史	履修学年	高校	1	年1～7	組	
単位数	2単位	使用教科書 教材等	山川出版社「詳説 世界史」						
担当者	星野・本間		第一学習社「グローバルワイド最新世界史図表 四訂版」						
学習目標	近代社会の成立から第二次世界大戦終戦にいたる約200年間の世界の歴史を概観し、現代世界に内在する歴史的諸問題の理解を目標とする。								
学習内容	近代史の学習（18～19世紀後半）においては現代社会に密接に関わる事柄のみにとどめ、20世紀、現代社会の理解に重点を置くこととする。また、授業においてふれる歴史用語等はできるだけ教科書に掲載されている範囲とする。								
授業方法	講義形式による授業を中心とする。単元ごとに内容を理解する課題を出す。また、必要に応じてグループ学習を行う。								
評価方法	定期考査の結果に、課題の提出状況等(各試験前2回の小課題で1回につき5点分の年間合計20点)から平常点を加味して評価する。なお、定期考査の設問には、論述問題なども入れ、単に用語の暗記に終始しないよう留意する。								
授業計画									
学期	月	学習内容・単元等						区分1 評価	区分2 評価
1学期	4月	課題を出す						1学期 中間考査	プリント 課題
	5月	産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命とナポレオン							
	6月	オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 南アジアの植民地化							
	7月	東アジアの激動							
	8月								
2学期	9月	帝国主義と列強の展開 世界分割と列強対立						2学期 中間考査	プリント 課題
	10月	アジア諸国の改革と民族運動							
	11月	第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国						2学期 期末考査	
	12月	アジア・アフリカ民族主義の進展							
3学期	1月	世界恐慌とファシズム諸国の侵略 第二次世界大戦						学年 末考査	プリント 課題
	2月								
	3月								

教科名	公民	科目名	政治経済	履修学年	高校	1年	1～7組	
単位数	2単位	使用教科書 教材等		実教出版「高校政治経済」東京法令出版「政治・経済資料」				
担当者	島崎由紀子・池田巧							
学習目標	主権者となるための基礎的資料を提示するとともに、社会に生きていくための知識を身につけていく							
学習内容	経済の内容を中心に学習する。授業は学習指導要領の内容にとどまらずに、日々起きていることを問題として考えさせ、思考力を高めるようにする。使用教材としては、教科書、資料集の他に、新聞や雑誌等も使用する。							
授業方法	講義形式による授業を中心とする。また時間を十分にかけて重点的に学習する単元と、授業では必要最小限の説明に止める単元を明確に分けて、可能な限り授業進度に遅れを生じないように配慮するものとする。							
評価方法	評価については、定期考査と平常点（課題提出・授業態度など）で学期ごとに評価する。評価平均は概ね6.5～7.0となるよう調整する。（応用力・基礎力クラスとも） 定期考査は、授業や課題（宿題）で扱った知識を問う問題を70%、それらの知識を元に思考力・判断力を問う問題を20%、時事問題を10%出題することを基本とする。 学期末の評価が3点以下の場合、再試験を実施または課題を課す予定。							
授業計画								
学期	月	学習内容・単元等					区分 1 評価	区分 2 評価
1 学期	4月	経済活動の意義 経済社会の形成と変容					1 学期 期末 考査	
	5月	グローバル化と現代資本主義						
	6月	市場機構 現代の企業						
	7月	国民所得と経済成長						
	8月							
2 学期	9月	金融のしくみ					2 学期 期末 考査	
	10月	財政のしくみ						
	11月	社会保障の役割						
	12月							
3 学期	1月	商品・資本の流れと国際収支 労使関係と労働条件の改善					学 年 末 考 査	
	2月	地域経済統合と新興国の台頭						
	3月	経済協力と人間開発の課題						